

重点施策10 親しむ視聴覚教育の拡充と推進

【施策方針】

学校教育、社会教育における視聴覚教育の振興を図るため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、視聴覚の円滑な利用促進を図る。

【実施状況】

(1) 主な施策・事業

- ① 視聴覚教材の有効利用と指導者の養成
- ② 視聴覚ライブラリー保有機器・教材の充実

(2) 施策・事業の実施状況

① 視聴覚教材の有効利用と指導者の養成

視聴覚ライブラリー教材を利用した「アンコール子ども映画会」は、利用者が年々減少していることから、令和2年度より廃止した。

小学校、児童クラブ等へ出向いての「出前映画会」の実施を充実させ、11施設324人が視聴した。

愛媛県視聴覚教育協会が実施しているホームページ作成学習会、プレゼンテーション作成学習会、教育機器実技研修会(デジタル動画編集、電子黒板)などの研修会参加を広報などで市民に呼びかけ、指導者としての資質向上を図っている。

ビデオテープのDVD化を進め、よりよい画像を残していきたい。

② 視聴覚ライブラリー保有機器・教材の充実

16ミリ映画フィルム167本、ビデオ教材718本、DVD教材61本を保有している。

令和元年度は16ミリフィルム・ビデオ・DVD等の貸出はなかった。機器で活用の多いのはパソコン対応型プロジェクターで、単に写すだけでなく、パソコンに接続し研修するケースが増えている。

教材の充実については、厳しい財政事情の中、備品購入費が少なくなってきた。

視聴覚機器は著しい進歩により、ビデオテープからDVD、さらにはブルーレイの時代となってきた。ビデオテープはテープの劣化、機器の生産中止などにより視聴できなくなりかけてきているため、早急に視聴覚ライブラリー保管(著作権の有するもの)の昔の映像をDVD化しなければならないと考えている。機会をとらえ、昔の映像等貴重な八幡浜市の資料を紹介するとともに、今後の活用について学校や公民館等に呼びかけたい。

【事務事業点検評価委員意見】

- 視聴覚教材の有効活用は、子どもたちの情操教育に大変重要である。「アンコール子ども映画会」の廃止は残念であるが、「出前映画会」をより充実させてほしい。
- 視聴覚機器の進歩は著しく、コロナ禍でのオンライン授業、会議、テレワーク等、本市では十分であろうか。指導者の研修を充実し、資質の向上を図ってほしい。
- 映像のDVD化を早くしないと、また次の映像の時代になりかねず、急がれるべきである。

【自己評価】

- 学校、保育所、児童クラブへ利用促進依頼に直接出向き、子どもたちの情操教育推進のために「出前映画会」を中心に行っており、広報紙「MANABI」を作成して利用状況を掲載し、広報宣伝を行った。
- 視聴覚ライブラリーでは、オンラインに対応する機材を保有していない。今後は機材の必要性を検討していきたい。
- 映像のDVD化は、順調に進んでいる。DVD化後の「VHSテープ」の保管・廃棄等について検討していきたい。